

INTERIOR TREND VISION: 2019

HEMTEXTL | SPA COLOGNE | M & O PARIS JAN | M & O PARIS SEPT | SFP | PPS | PMAIT | COLLECTIBLE | SALONE DEL NOBILE | IFFNY | DESIGN PARADISE | FORMEX | HABITARE | LONDON DESIGN FESTIVAL | DESIGN JUNCTION | LONDON DESIGN FAIR | DECOREX | INTERBLU | JAPANTEX ART

World Interior Design Trade Fair Report 2018



世界の最新インテリアデザインがわかる本。

ミラノ・サローネやメゾン・エ・オブジェなど、世界の主要インテリア見本市を徹底取材。

市場動向と最新のインテリアトレンド情報を詳細レポート！



Ver.16.0

Maison et Objet

September 2018

メゾン・エ・オブジェ・パリ 9月展

www.maison-objet.com

Place: Paris Nord Villepinte exhibition centre, France.

Date: 8 to 12 September 2018

Exhibitors: 3,192 (Company)

Visitors: 76,502



2つの軸を中心とした展示

2018年9月のメゾン・エ・オブジェは、来場者の動線をシンプルにするために展示会を大きく2つの軸によって再構築を試みていた。展示会自体を全体にリニューアルした事で、展示社と来場者の間に戸惑いが生じないように細かい段階を経ての超大型のリニューアルとなっていた。こういった大型展示会の展示内容の再構成は、開催者側にとってもリスクが大きい。時代の変遷と共に、バイヤー、展示社の本質に最大限に寄り添った形をメゾン自体も追求している方向性は好ましい。親しんだ環境を大胆に変更することは、コンフォートゾーンから抜け出し、新たなビジネススタイルやモデルを再構築する上で欠かせない進化だ。展示会組織自体がこうした変革に積極的に取り組み、時代に沿った展示会の新たな方向性を見つめる姿勢が果たしてどうビジネスに影響してゆくのが今後の課題だ。

革新というよりは、もはや進化

展示会での平均的な滞在時間は約1日半。求めているモノを効率よく見つけ出す事がバイヤーの目的になっている事もあり、今期の全面的なホールの見直しでは、原点に立ち返り「メゾン」と「オブジェ」の2つの軸に沿った新たな配置を決断。物理的な再編成という事だ。IT化によって情報へのアクセスがシンプルになった今、効率を重視し、それぞれのニーズに応えられる展示会を目指している。また、特別な3区画のカテゴリーでは、更に出展費用を必要とするプレミアムゾーンの「シグニチャー」セクションを設け、積極的な出資力のあるメーカーの出展を募るなど、展示会ビジネスモデルの構築も今後の動きの一つとして静観してゆきたい。グローバルで厳選された展示内容にする事で、付加価値の高い展示会を目指している事が伺える。時代に沿った適切なセクター分けで、心機一転した展示シーズンとなっていた。

オンライン/オフラインで同時体験を提供する

フィジカルな展示会での体験の延長として、年間を通じて出展ブランドにアクセス可能なプラットフォーム「MOM」に加え、市場の動向を捉えるための情報が詰まった新形態のトレンドインスピレーションブックを新たに発行。第1号は「VIRTUOUS / 徳性」は、環境に優しい新素材、今シーズン必見のプロダクトセレクション、新たな消費者像の解説などを特集している。価格も以前までの100ユーロ近くのモノから40ユーロという新価格設定になり、オンライン販売も行なっている。時代の潮流を読み解く為に欠かせない情報を特集した冊子として重宝しそうだ。

デザイン&デコレーションで迎えた パリ市街のイベント

展示会と並行して開催しているパリデザインウィーク。2018年9月6日から15日まで開催。パリ市街を網羅したイベントで、デザインやトレンドの愛好家に向けた一般的に解放された特別イベントが行われていた。約200箇所のスポットが街中に点在し、地区ごとにレセプションやパーティーなども開催。独創的な展示や空間演出を始め、デザインプロダクト、ショップ&ショールーム、ポップアップ、ギャラリーなど、どれも新シーズンに向けた最新作品をリリースするイベントで賑わっていた。グラン・パレで開催していたパリ・ビエンナーレ、現在最も注目されるインテリアデコレーターの仕事に敬意を表して毎年開催されるADインテリア展、若手デザイナー達を中心に開催されているNOWLeOFF、パリの蚤の市なども参画し、デザイン、ライフスタイル、デコレーション関連のイベントで盛り上がっていた。



Michaël Verheyden

www.michaelverheyden.be

ベルギーのアントワープに拠点を構え、彼の妻である Saartje Vereecke と共に、ハウスウェアのオブジェクトを中心にクリエイティブを手探している。日用品からアートオブジェまで様々なコレクションは、どれも究極なミニマリズムスタイルが特徴的だ。レザーのバスケット、マーブルのトレイ、家具やブロンズのオブジェなどを発表。彼はローカル職人との伝統的な仕事を中心と考え、原始的な素材を厳選し、職人技術と素材の可能性を追求している。オリジナルの製品に加え、彼はプロダクトデザイナーとして、様々なメーカーにもデザインを提供している。

Giobagnara

www.giobagnara.com

イタリアの革を使った高級ホームファッションを提案する Giorgio Bagnara は、Stéphane Parmentier のコラボレーションの新作を発表。2017 年にリリースした家具シリーズは Wallpaper でベスト製品に選ばれたなど、デザインの先進性はもちろんのこと、その製品の品質の高さも評価がある。小物入れ、ケース、家具、そして 2018 年は、70 年代風の民俗調壁付けのアートワーク TABOU PARETE をリリースしていた。



pulpo

www.pulpoproducts.com

今期のテーマは「SÉRIE NOIRE, THE LAST CHAPTER / 黒シリーズ、最後の章」展示環境は黒を基調にした空間に、鮮やかな色彩のプロダクトを配置し、強烈な印象を残していた。Sebastian Herkner の ATOLL は、分厚いガラスのスラブで出来た色彩豊かなキャンドルスタンド。Lorenzo Zanovello による CHOU CHOU は、彼の働くセラミック工場の真の奥に置いてあった作品を再発見したもの。シンプルな金属ベースにレザートップの椅子 CUT は「レザーを椅子にする」コンセプトから生まれた。ノリのデザインスタジオ Studio Brichetz Ziegler の作品。Sacha Waackhoff のコンビネーションカーペット MARELLE は、ジッパーで取り外し可能なカーペット。多彩なコンビネーションを生み出す。





ALLUX

www.allux.kr

韓国のソウルから出展していた共同設立のライティングブランド ALLUX。韓国における重要な照明業界の供給基地になっているソウルの照明の卸売地区 Eu Ijiro を活性化するために立ち上げたレーベル。韓国全土の照明に関わる製造職人を兼ね、若手のデザイナーによるプロデュースで実現したプログラムだ。指揮を取ったのはストックホルムで活動する BYMARS の Mars Hwasung Yoo、SLOPE シリーズをデザインしている。テキスタイルを使った照明 CLIP のデザインは SWNA。革ハンドルが特徴的な SOLARIS は Sehwan Oh デザイン。San gmin Lee の PL / TL / FL シリーズは、直線的でミニマルな照明コレクション。



Deesawat

www.deesawat.com www.soshishiroerai.com

バンコクのアウトドア家具メーカーの Deesawat は常に新たなデザイナーとのコラボレーションを模索している。新作の「Year Ring」は日本人デザイナーの Terai Toshihiro が手掛けていた。年輪を思わせるユニークなアプローチ。レーザー加工機を活用した積層造形物で、細かく分割された材の積層が特徴だ。積層の方向を垂直から傾けて断面と表面の見え方を変化させることで、今までにない新しい表情を持つプロダクトのデザインになっている。素材は 4mm 厚のヒノキを使用。全型による成形や切削による造形など、従来の手法とは違った製作アプローチになっている。



Kristina Dam Studio

www.kristinadam.dk

「Sculptural minimalism / 彫刻的ミニマリズム」をテーマに展開しているコペンハーゲンのデザインブランド。グリーンで美しいラインと素材を生かしたアプローチは、スカンジナビアンスタイルと建築的要素の融合による表現。耐久性を考えた素材を取り入れ、洗練された美しいフォルムのプロダクトは、インテリアオブジェの存在を更に強調している。Kristina Dam はグラフィックデザインと建築経験生かしたもののづくりを進めている。全ての商材は欧州産で製造手配されている。